

# 道しるべ



鶴ヶ島市立西中学校

進路だより No. 1

令和6年4月12日(金)

文責：大木 北斗

## 進路決定に向けてスタート！

いよいよ3年生にとって、中学校生活最後の1年がスタートしました。義務教育最後の1年間であることとともに、人生の新たな一歩を踏み出すための重要な1年間でもあります。学習面はもちろんのこと、生活面においても上級学校へ進学するうえで、もしくは社会人になるうえでふさわしい態度と言動を身につけていきましょう。



さて、みなさんは『進路』と聞いてどんなことを連想しますか？多くの人が『受験』という言葉で連想するのではないのでしょうか。だから周りの大人に「進路について考えよう」と投げかけられると、「受験のことを考えなさい！」と言われていたようで、なんとなく嫌な気持ちになっていませんか？「進路のことなんて考えたくないよ」と、ちょっと反抗してみたくありませんか？

『進路』＝『受験』ではありません。「進路を考える」とは「自分の人生を考える」ということです。自分は将来どんな人間になりどのように生きていきたいのか、そのためにどんな仕事につきたいのか、その仕事につくためには中学校卒業後どうしたらよいのか、そのために今何をしたらよいのか、そんなふうに関心を持って考えるのが「進路を考える」ということです。まだ経験したことのない先の人生を考えるのは難しいことかもしれません。ときに不安になることもあるかもしれません。だからこそ周りにいるあなたより人生経験が長い人、家族や先生などの大人の意見をたくさん聞いてほしいのです。進路のことを考えるのは楽しいこと、そんなふうに関心してもらえたら嬉しいです。

## 進路実現に向けて意識してほしいこと

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| ①規則正しい生活を送る。   | ②目標をもつ。               |
| ③具体的な学習計画をたてる。 | ④1時間1時間の授業を大切にする。     |
| ⑤家庭学習の習慣をつける。  | ⑥1・2年生の復習をする。         |
| ⑦部活動を最後までやりきる。 | ⑧正確な情報を得て、情報の取捨選択をする。 |



## 保護者のみなさまへ

私たちは、生徒一人ひとりが自分に合った進路を見つけられるよう、全力でサポートしていきます。ときにお子さまの考えと保護者の考えが異なり、気持ちがぶつかることもあるでしょう。そんなときは、どうか時間をかけて話し合ってみてください。ご心配なことがあれば、すぐに学校にご連絡ください。よろしくお願いいたします。